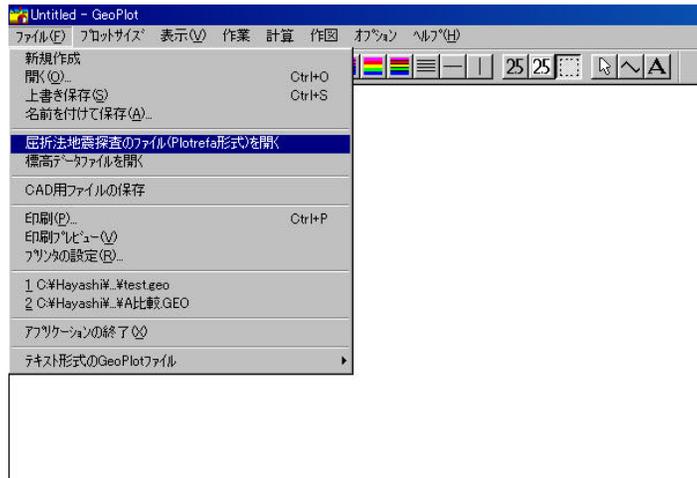


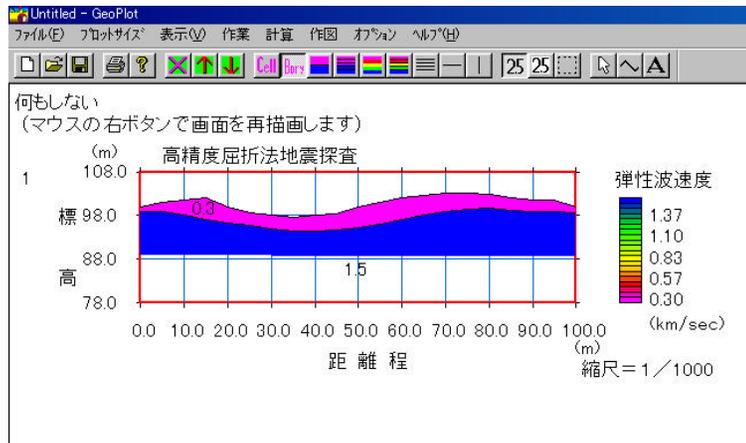
- PlotRefaファイルの入力
- コンターの設定
- 軸の設定
- 断面の下側の色塗り範囲の設定
- 旗揚げ
- 設定を他の断面に適用
- 表示する断面の選択
- データ値の抜き出し
- Excelなどを用いた分析

PlotRefaファイルの入力

「ファイル」「屈折法地震探査のファイル (Plotrefa形式) を開く」を選択します。



速度断面が表示されます。



表示スケールを変更します。

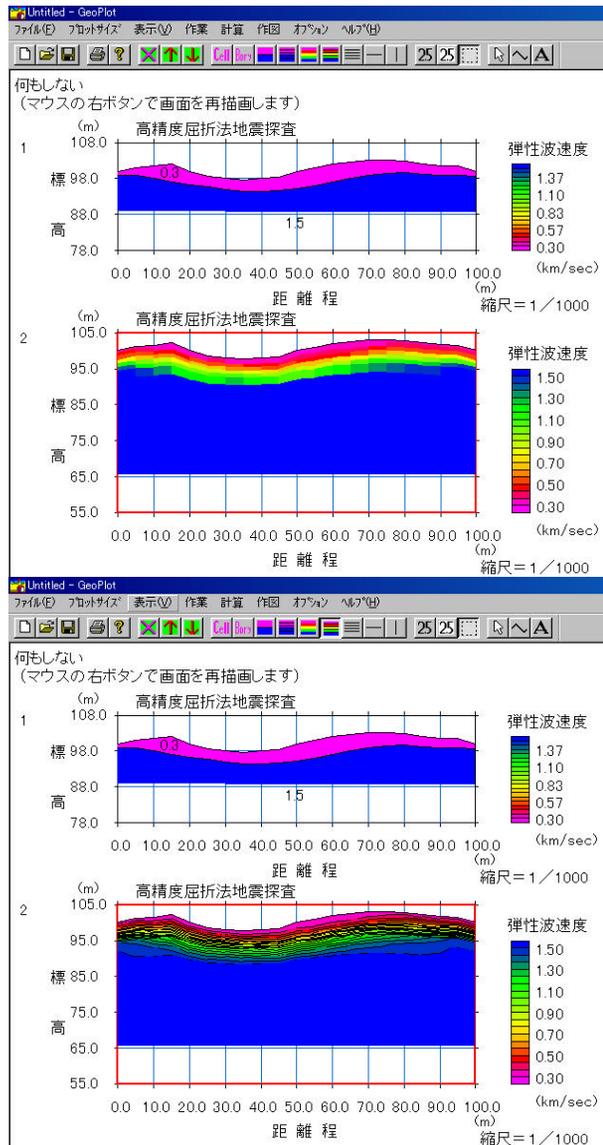
PlotRefaファイルの入力

続いて「ファイル」「屈折法地震探査のファイル (Plotrefa形式)を開く」を選択することにより、複数の断面を並べて表示することができます。

「表示」「セル表示」「コンター表示」などにより、表示方法を変更できます。

-  セル表示
-  セル表示のコンター線を重ねて表示
-  コンター表示
-  コンター表示(線あり)
-  コンター線のみ表示
-  層境界のみ表示

GeoPlotで作成した図面は「ファイル」「名前をつけて保存」でGeoPlot形式ファイルとして保存して下さい。作成した図面のイメージをそのまま保存することができます。



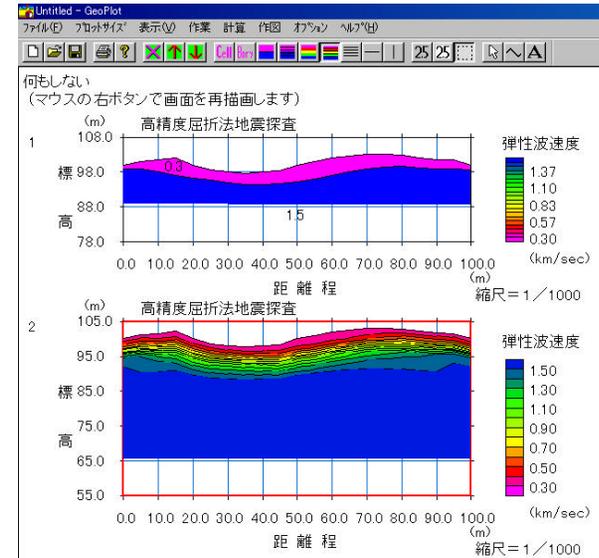
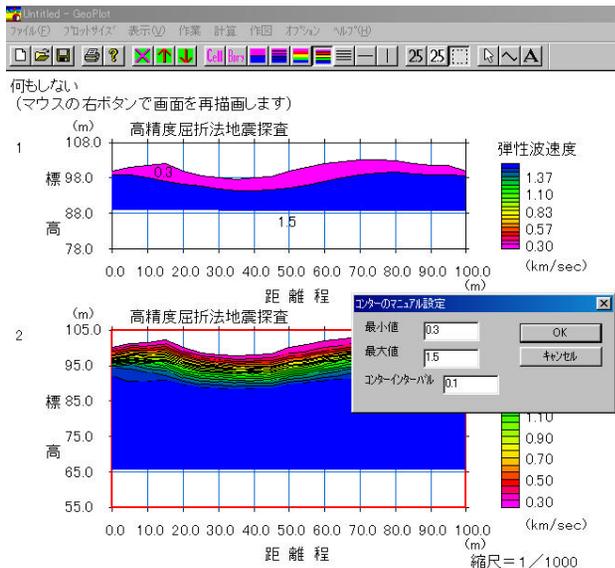
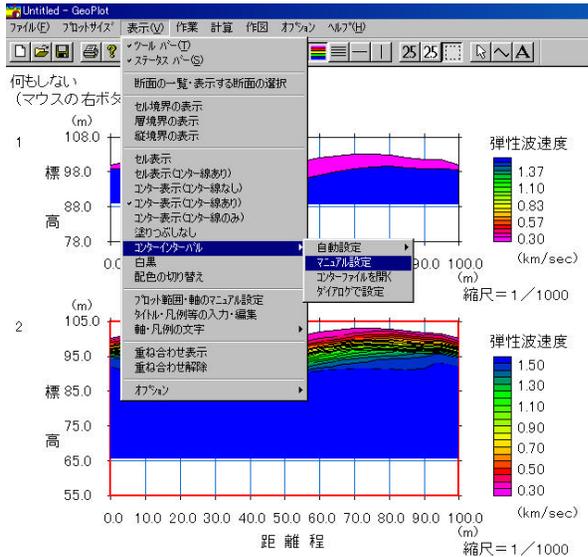
コンターの設定

コンター間隔を任意に設定することができます。

「表示」「コンターインターバル」「マニュアル設定」を選択します。

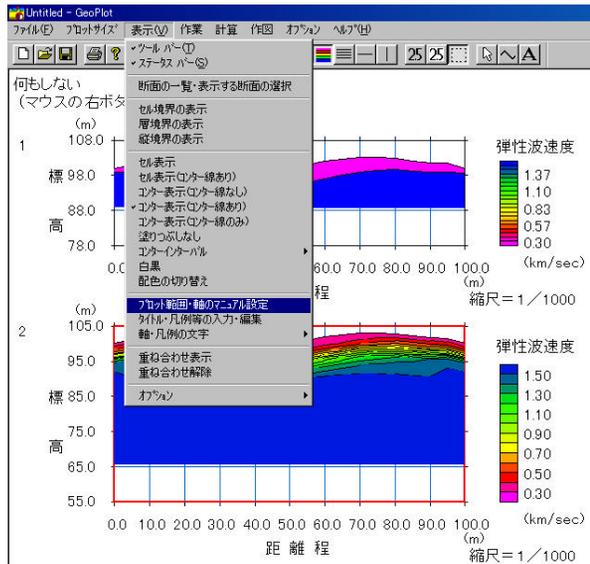
表示されたダイアログボックスで、最小値 最大値 コンターインターバルを設定します。

「OK」をクリックすると、設定したコンター間隔で断面が表示されます。

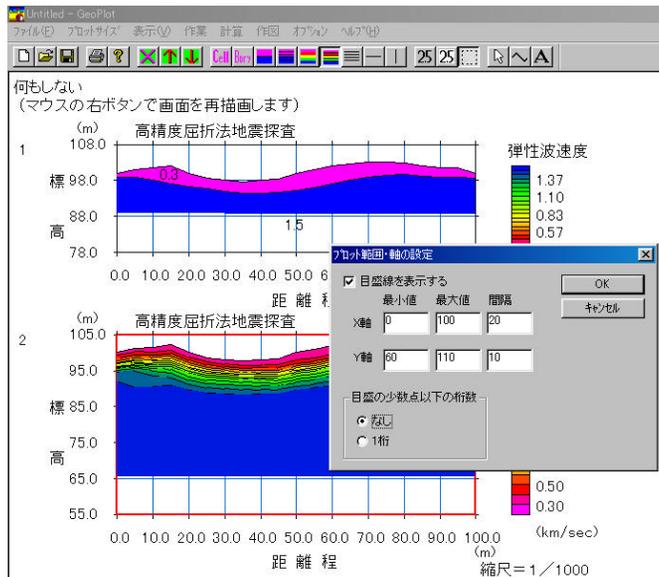


軸の設定

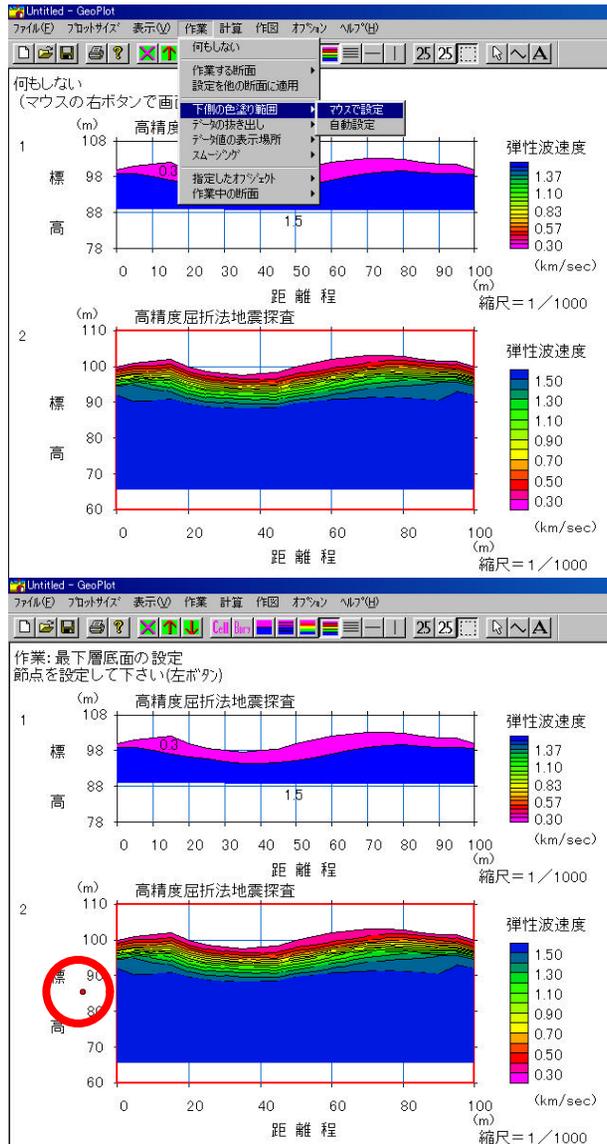
「表示」「プロット範囲・軸のマニュアル設定」を選択します。



表示されたダイアログボックスで、軸の範囲やラベル間隔などを設定します。



断面の下側の色塗り範囲の設定



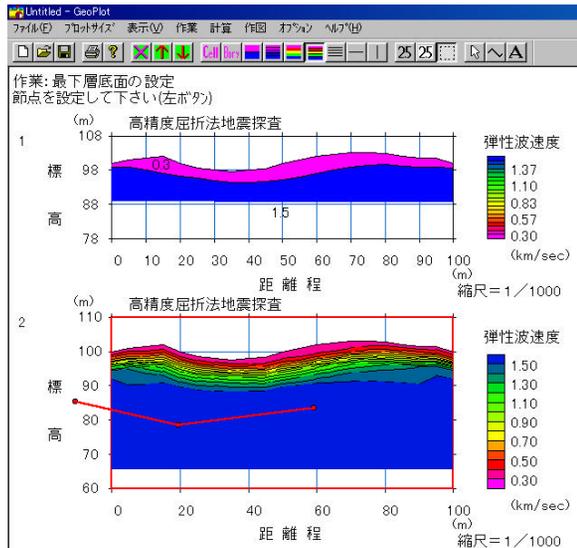
断面の下側については、色を塗る範囲や形状を任意に設定できます。

「作業」「プロット範囲・軸のマニュアル設定」を選択します。

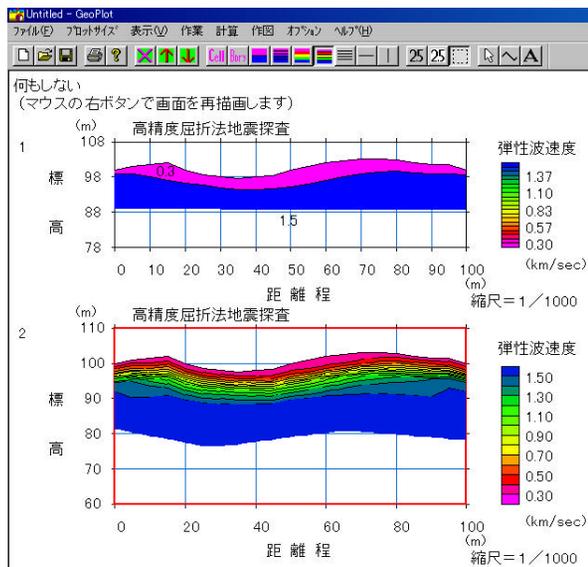
マウスの左ボタンで色塗り範囲を設定します。最初は断面の左端より外側から始めます。

断面の下側の色塗り範囲の設定

左から右にマウスで色塗り範囲を指定していきます。



右端より外側をクリックすると、指定を終了します。指定した範囲まで色が塗られて断面が表示されます。



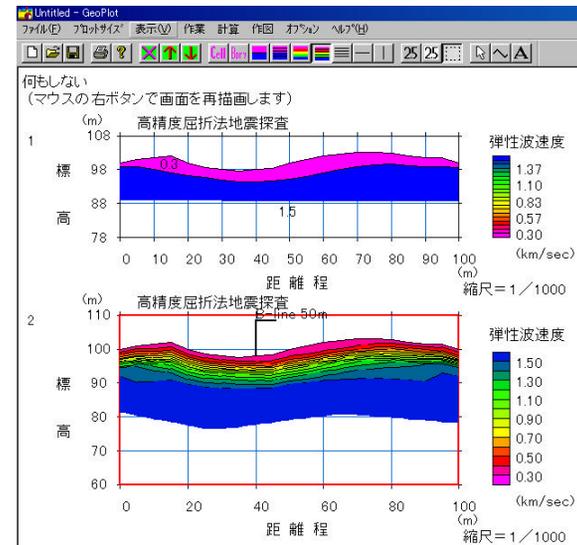
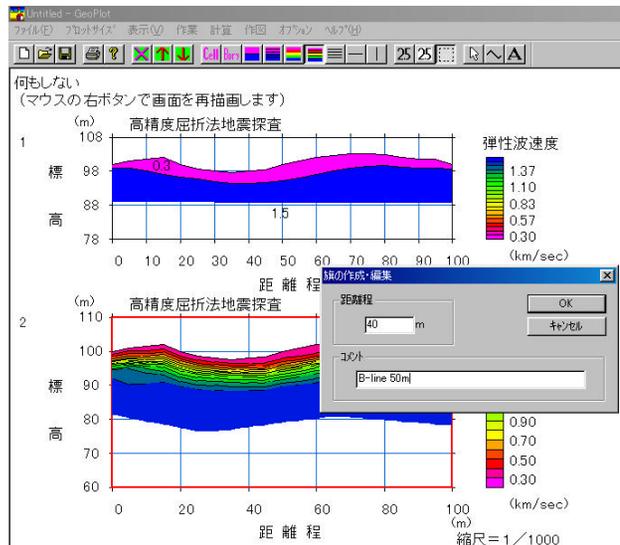
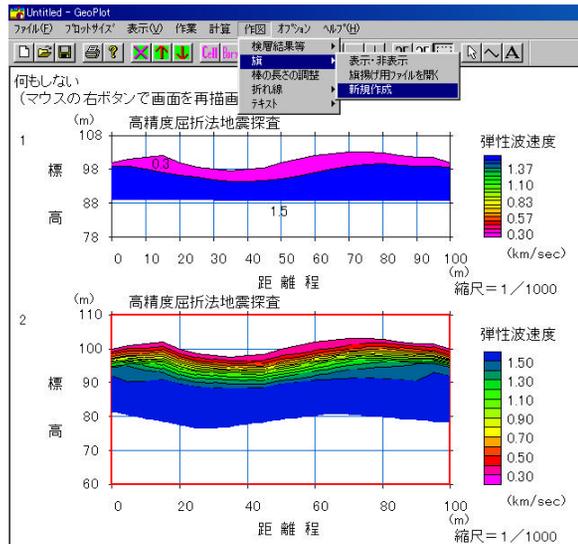
旗揚げ

測線の交点・ボーリング位置などを示す旗を作成することができます。

「作図」「旗」「新規作成」を選択します。

表示されたダイアログボックスで、旗を揚げる距離程とコメントを入力します。

断面上に旗が表示されます。



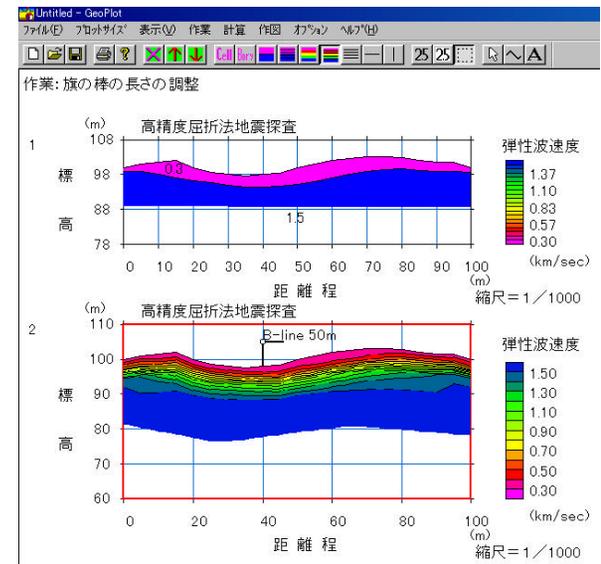
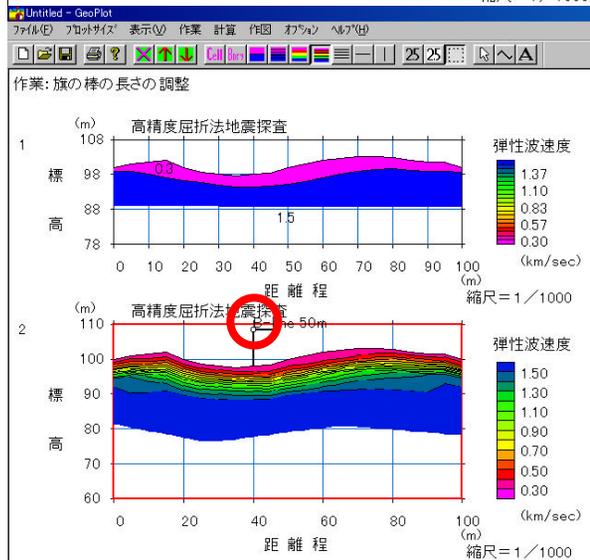
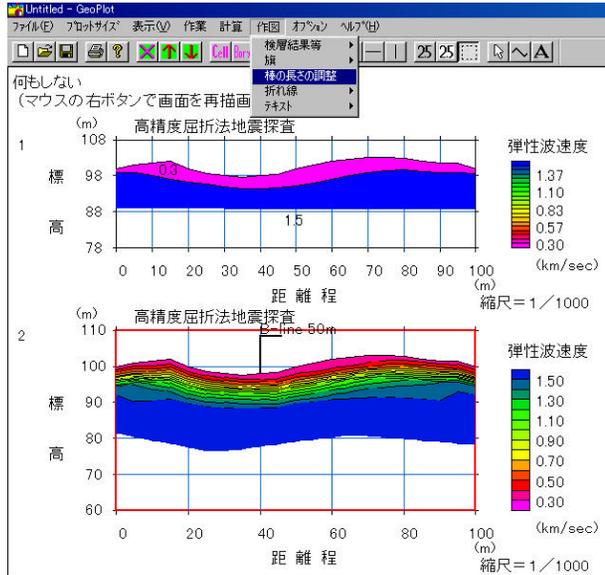
旗揚げ

旗の棒の長さをマウスで調整できます。

「作図」「棒の長さの調整」を選択します。

棒の上端の白丸をマウスで移動します。

棒を適切な長さに調整してください。



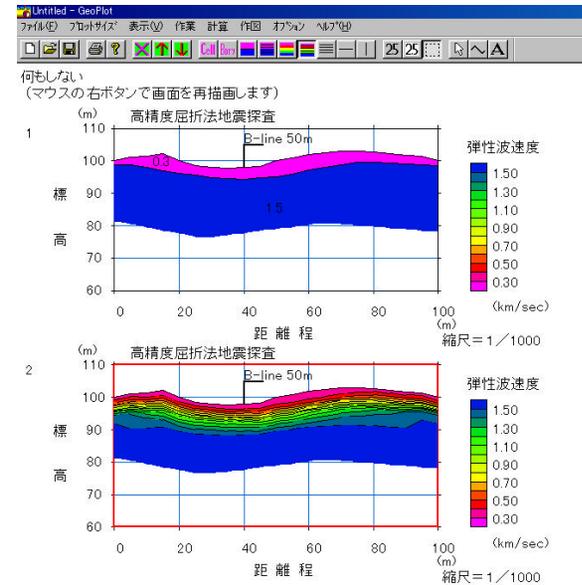
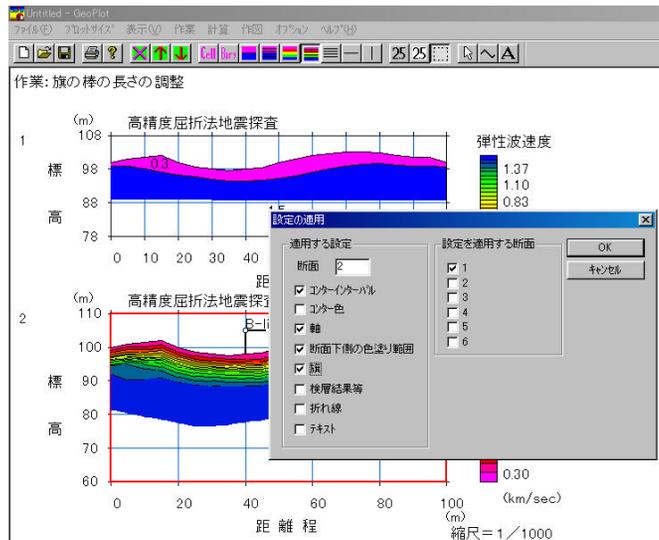
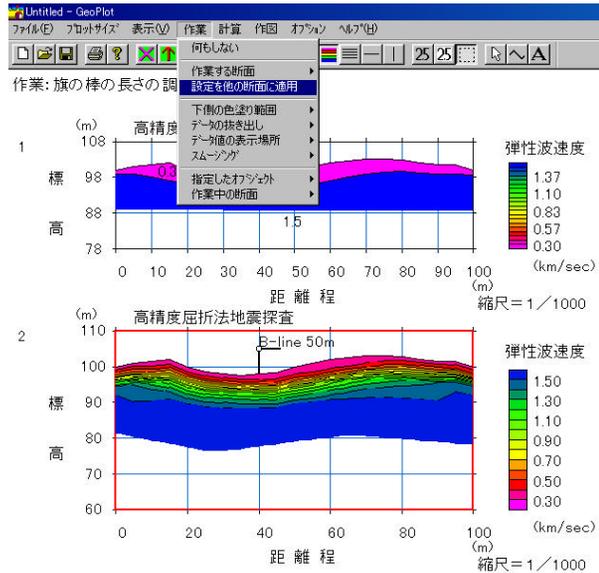
設定を他の断面に適用

1つの断面に対して設定した値を他の断面に適用することができます。

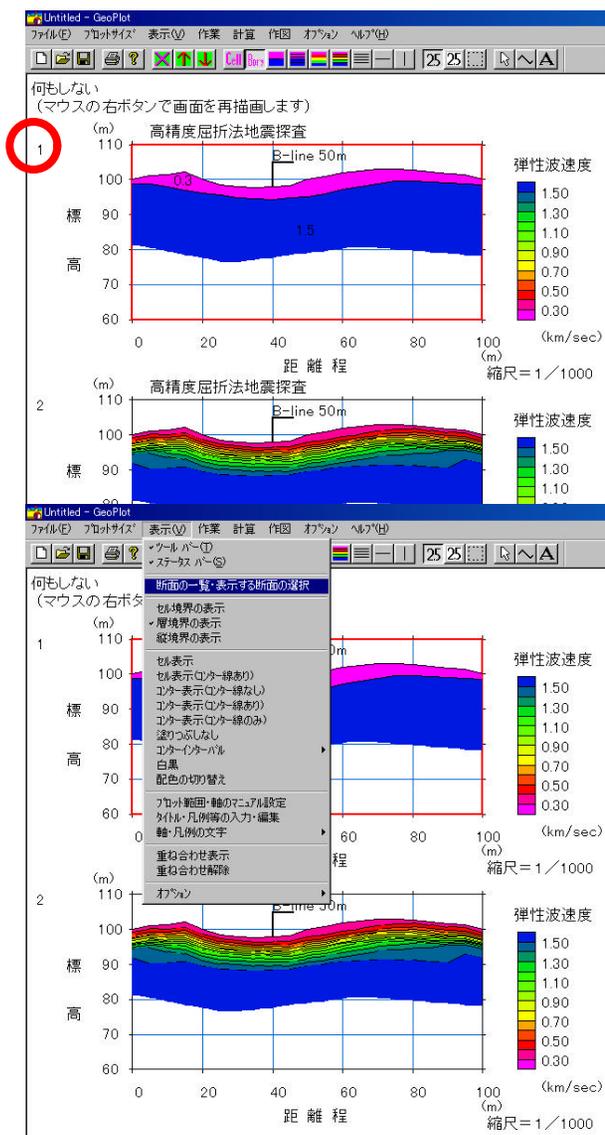
「作業」「設定を他の断面に適用」を選択します。

表示されたダイアログボックスで適用する断面と適用する描画パラメーターを設定します。

複数の断面が同じパラメータで表示されます。



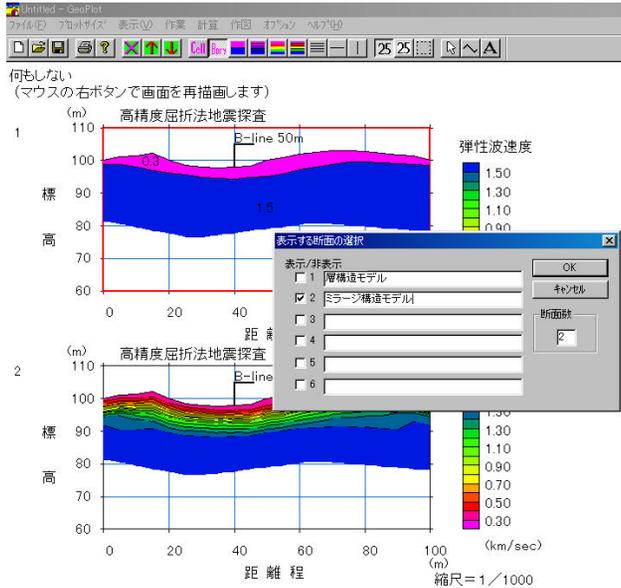
表示する断面の選択



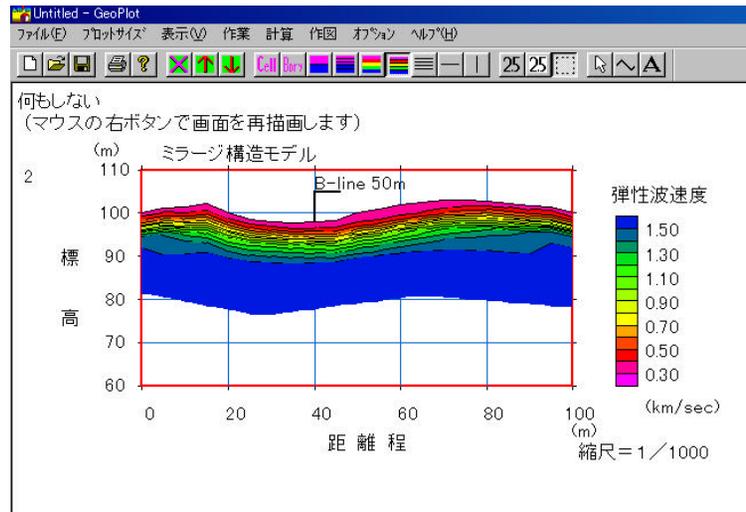
全ての作業は枠が赤くなっている断面に対して行われます。他の断面に対して作業を行う場合は、断面左上の数字をマウスでクリックしてください。

複数の断面がある場合、特定の断面だけ表示させることができます。「表示」「断面の一覧・表示する断面の選択」を選択してください。

表示する断面の選択

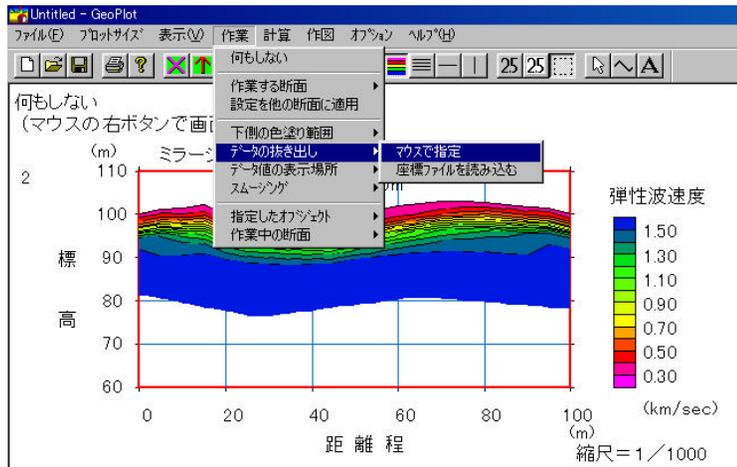


表示されたダイアログボックスのチェックボックスで、個々の断面の表示・非表示を切り替えることができます。また、断面左上に表示するコメントを任意に書き換えることもできます。



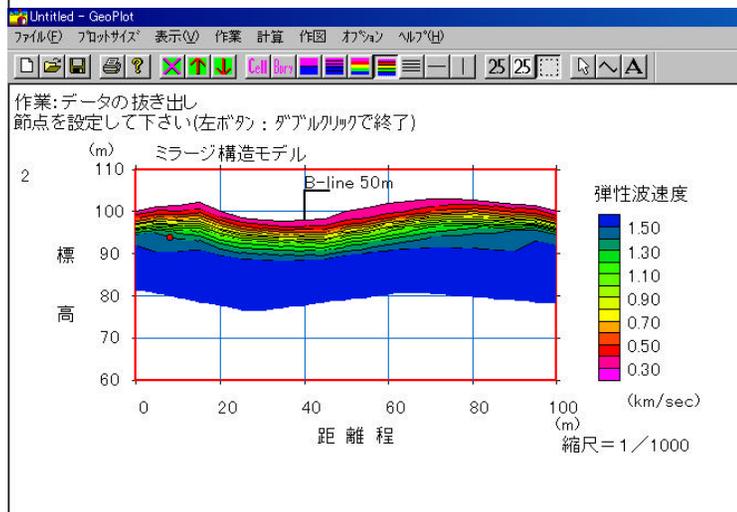
「OK」をクリックすると、選択した断面のみ表示されます。

データ値の抜き出し



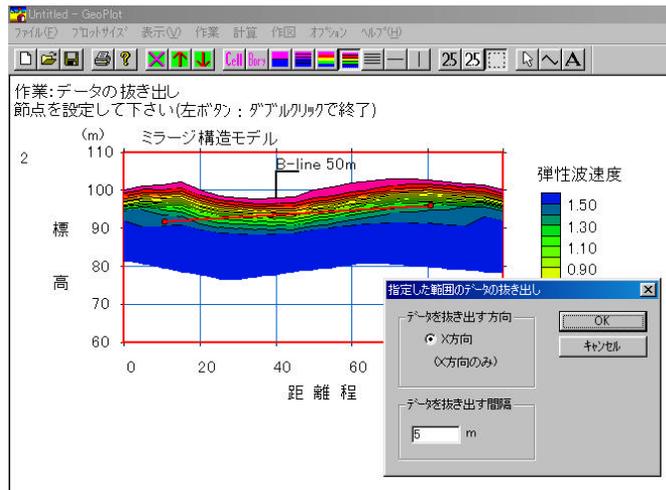
任意に設定した折れ線上の区間のデータを抜き出し、ファイルとして保存することができます。

「作業」「データの抜き出し」「マウスで指定」を選択します。



データ抜き出す区間を、左から右にクリックしていきます。

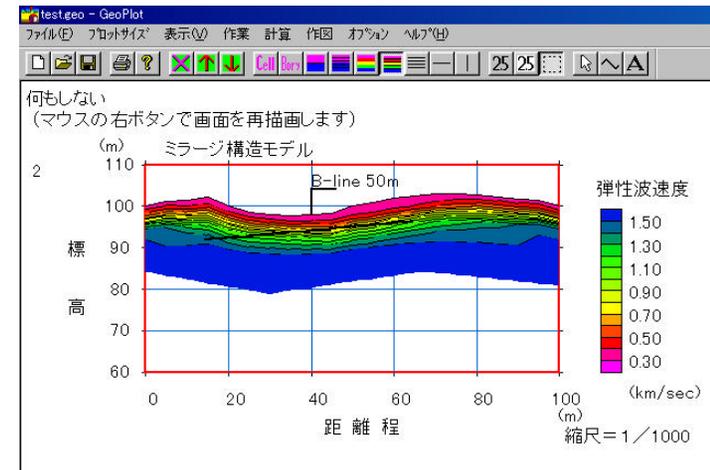
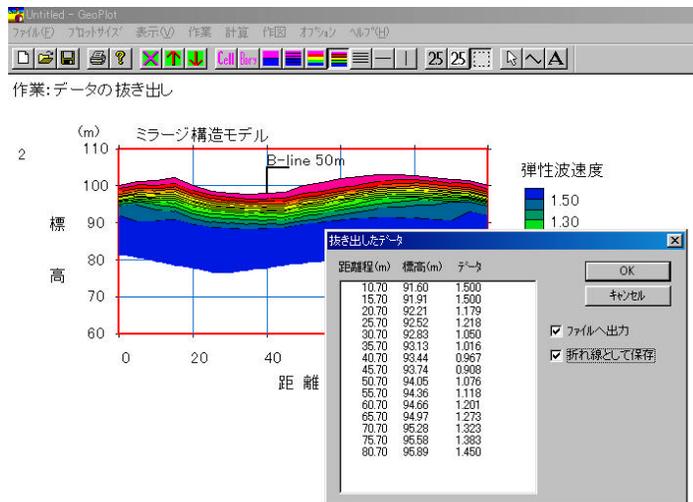
データ値の抜き出し



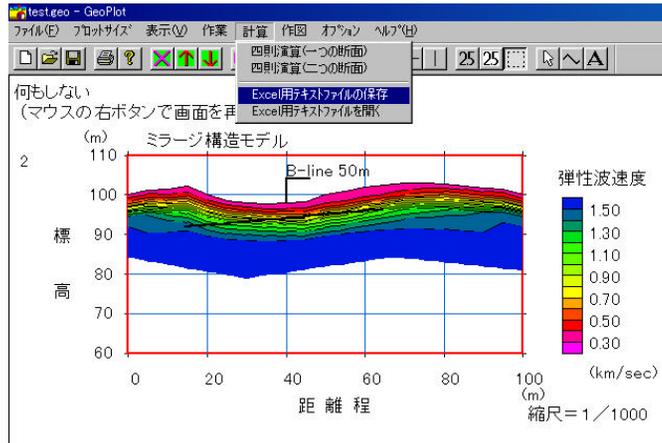
ダブルクリックで指定を終了します。表示されたダイアログボックスで、データを抜き出す間隔を指定してください。

抜き出されたデータがダイアログボックスに表示されます。

抜き出したデータをファイルに保存したり、抜き出した位置を折れ線として断面に残すことができます。



Excelなどを用いた分析



GeoPlotのデータをテキストデータとして保存することにより様々な分析を行うことができます。

「計算」「Excel用テキストファイルの保存」を選択し、適当な名前で保存します。

	A	B	C	D	E	F	G
1		2	20	15			
2		0	0	0.304	0.3		
3		0	1	0.304	0.3		
4		0	2	0.4428	1.5		
5		0	3	0.563	1.5		
6		0	4	1.1079	1.5		
7		0	5	1.378	1.5		
8		0	6	1.5	1.5		
9		0	7	1.5	1.5		
10		0	8	1.5	-100000		
11		0	9	1.5	-100000		
12		0	10	1.5	-100000		
13		0	11	1.5	-100000		
14		0	12	1.5	-100000		
15		0	13	1.5	-100000		
16		0	14	1.5	-100000		
17		1	0	0.3015	0.3		
18		1	1	0.3943	0.3		
19		1	2	0.5215	0.3		
20		1	3	0.6989	1.5		
21		1	4	0.9898	1.5		
22		1	5	1.2226	1.5		
23		1	6	1.4573	1.5		
24		1	7	1.5	1.5		
25		1	8	1.5	1.5		
26		1	9	1.5	-100000		
27		1	10	1.5	-100000		
28		1	11	1.5	-100000		

保存したファイルをExcelで読みこんだところ
です。B列は水平方向のセル番号、C列は縦
方向のセル番号、D列は2番目の断面の各セル
の値、E列は1番目の断面の対応する地点
のデータです。対応する地点にセルが場合に
は-10000が記入されます。

